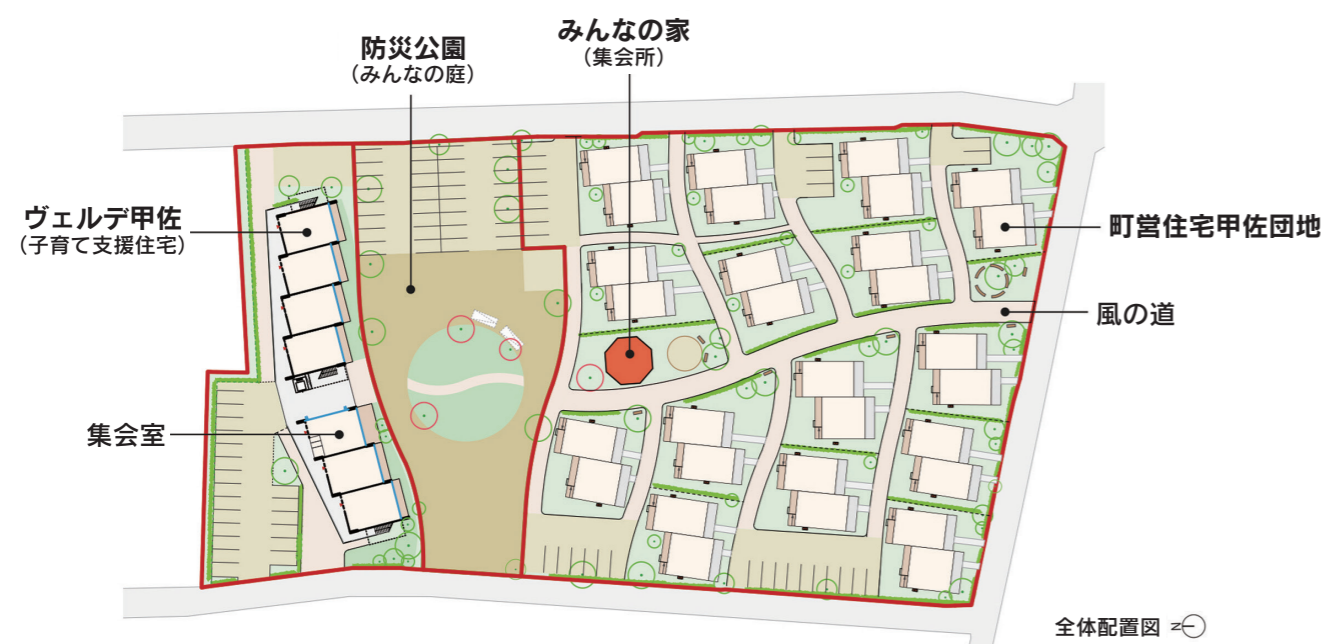


甲佐地区防災公園 (みんなの庭)

主要用途 / 公園
 発注者 / 甲佐町
 施工者 / 田中建設株式会社甲佐支店
 敷地面積 / 2407.02㎡
 施工期間 / 2019年9月~2020年1月



くまもとアートポリス事務局
 熊本県土木建築住宅局建築課
 〒862-8570 熊本中央区水前寺6-18-1
 Tel:096 333 2537



甲佐町 住まいの復興 拠点施設

Kosa Municipal Public
 Disaster Housing Complex,
 HOME-FOR-ALL and
 Childcare Support Housing and
 Disaster Prevention Park

熊本地震からの復旧・復興として甲佐町が計画した「住まいの復興拠点施設」である。

災害公営住宅15棟30戸とみんなの家（集会施設）、子育て支援住宅20戸、防災公園を一体的に計画することで、人口減少に歯止めをかけ、新たに多世代間の交流を生み出している。

甲佐町役場に隣接する暮らしやすい立地でありながら、周囲には水田と畑が広がり、防災公園とみんなの家を取り囲むように配置された災害公営住宅と子育て支援住宅では、心地よい風が流れる。

甲佐町の創造的復興のシンボルであり、今後の災害時の拠点ともなるこの場所で、更なる発展につながる地方創生が実現することを期待している。



甲佐町住まいの復興拠点施設

● 建築概要

2016年4月に発生した熊本地震で被災した甲佐町において計画された復興拠点施設。災害公営住宅15棟30戸、みんなの家(集会所)と、子育て支援住宅20戸、防災公園を一体的に計画することで、地震からの復興の先に新たに多世代の交流を生み出し、町の活性化を期待するものである。

敷地の南北には水田や畑が広がり静かで穏やかな環境である他、甲佐町役場と隣接する暮らしやすい立地でもある。被災した高齢の方々の住まいと若い子育て世代が同じ敷地で新たに暮らすことになるため、多世代間の交流を積極的に促す事が大切であると考えた。そこで、この土地に特徴的な風の流れを生かした南北の交流の軸をつくり、災害公営住宅と子育て支援住宅によって、公園とみんなの家を囲むことで距離を保ちながらも集まることができるような配置とした。

災害公営住宅は、交流軸の道からさらに枝分かれした小道沿いに配置して住戸間の距離を確保しつつ、2戸がずれながら1棟となる長屋形式とした。ずれて生じた壁や植栽がウィンドキャッチャーとなり、土間を通じて有効に室内に風を取り込むことができる。

みんなの家は、交流軸上の公園に面して配置することで多世代の交流拠点となることを目指している。垂直に伸びた屋根が敷地の中で馴染みながらも突出しており、住民から親しまれる存在となる。

子育て支援住宅は、公園に向かって手を広げているような佇まいで、公園で遊ぶ子どもの声が聞こえるような距離感をつくっている。甲佐町以外の地域からやってくる子育て世代の家族が孤立しないよう、エレベーター前の共用部に大きなベンチやテーブルをつくり、入居者同士が利用できる交流スペースをつくった。各住戸は災害公営住宅と同様にずらしながら隣接させることで、室内に風を有効に取り入れている。室内においてもルーバーや可動間仕切り等により風が流れるプランとした。

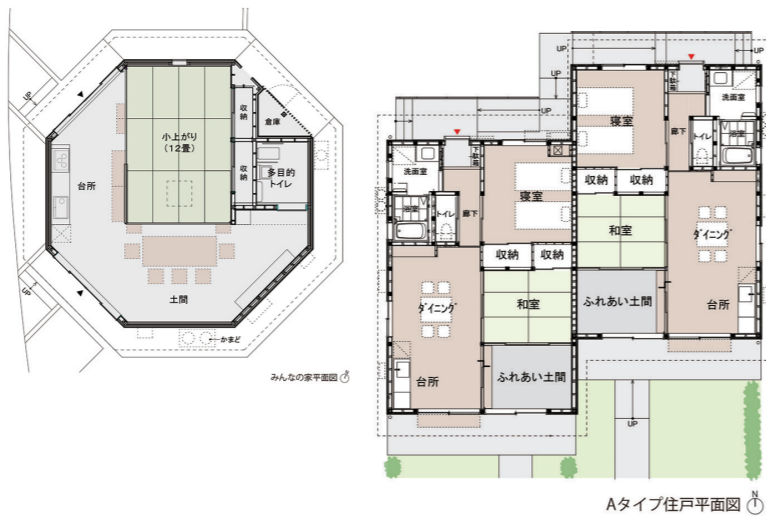
この土地の豊かな気候風土を最大限に生かし、風や光を採り入れながら自然と近い暮らしが実現することを期待している。

● 建築データ

名称 / 甲佐町住まいの復興拠点施設
所在地 / 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内地区
事業主体 / 甲佐町
設計者 / 岡野道子・ビルディングランドスケープ・ライト設計共同企業体
総工事費 / 1349百万円

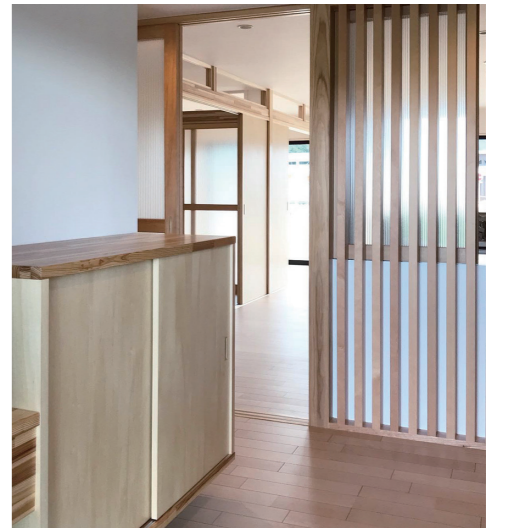
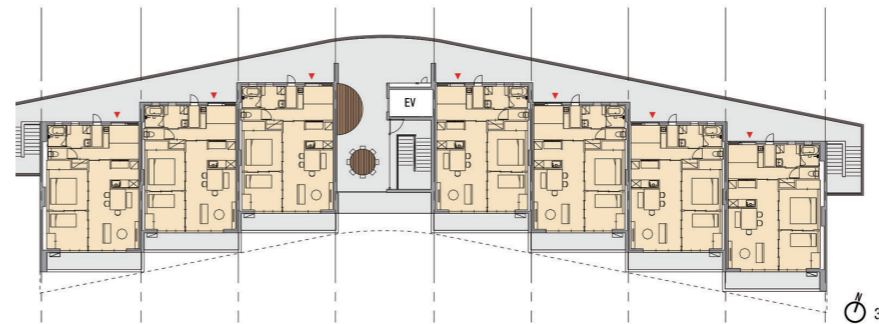
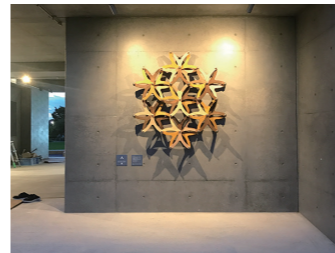
町営住宅甲佐団地 (災害公営住宅+集会所)

主要用途 / 長屋、集会所
発注者 / 熊本県
施工者 / 山王株式会社 (建築)、株式会社ミヤデン (電気)、藤本水道株式会社 (機械設備)
敷地面積 / 7903.03㎡
建築面積 / 2004.70㎡
延床面積 / 2003.00㎡
階数 / 地上1階
構造 / 木造
外部仕上 / 外装薄塗材吹付、杉羽目板WP
施工期間 / 2018年4月~2019年3月



ヴェルデ甲佐 (子育て支援住宅)

主要用途 / 共同住宅
発注者 / 甲佐町
施工者 / 株式会社松島建設 (建築)、田中建設株式会社甲佐支店 (外構) 有限会社伊豆野設備 (浄化槽)
敷地面積 / 2448.72㎡
建築面積 / 841.24㎡
延床面積 / 1987.92㎡
階数 / 地上3階
構造 / 鉄筋コンクリート造
外部仕上 / コンクリート打ち放しのうえ、フッ素樹脂塗装 (カラークリヤー)
施工期間 / 2018年8月~2019年8月



● 建築家プロフィール



岡野 道子
(おかの みちこ)

1979年 埼玉県生まれ
2003年 東京理科大学大学院修士課程修了
2005年 東京大学大学院博士課程中途退学
2005年 伊東豊雄建築設計事務所入所
2016年 岡野道子建築設計事務所設立
2017年 芝浦工業大学建築学部特任准教授
2017年 株式会社岡野道子建築設計事務所に改称
現在 代表取締役、芝浦工業大学特任准教授

●主な作品
檸檬ホテル、益城町テクノ本格型みんなの家、京都ZENホテル、宮城野の家



山代 悟
(やましろ さとる)

1969年 島根県生まれ
1993年 東京大学工学部建築学科卒業、
Responsive Environment共同主宰
東京大学大学院修士課程修了
2002年 横総合計画事務所
2002年 ビルディングランドスケープ設立共同主宰
2002~2007年 東京大学大学院建築学専攻 助手
2007~2009年 東京大学大学院建築学専攻 助教
2010年~ 大連理工大学 建築と芸術学院 客員教授
2017~2018年 芝浦工業大学建築学部建築学科 特任教授
2018年~ 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
現在 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授、博士 (工学)

●主な作品
早瀬庵、みやむら動物病院、LWB飯東橋、大連市甘井子区体育場

●受賞歴
大分県木材会館プロポーザル最優秀賞、T-1グランプリ2018 LVL賞、ウツドシティTOKYOモデル建築賞最優秀賞、延岡駅周辺整備デザイン監修者プロポーザル次点

株式会社ライト設計

●主な作品
益城中央小学校、龍燈苑、城南総合スポーツセンター体育館、山都みらい保育園、熊本県総合防災航空センター (共同企業体)、ホアンサー展示館 (ベトナム・ダナン市)

●受賞歴
2010年 木材利用大型施設コンクール 熊本県森林組合連合会賞
2013年 木材利用大型施設コンクール 熊本県森林組合連合会賞
2016年 木材利用大型施設コンクール 熊本県木材協会連合会賞
2018年 木材活用コンクール 優秀賞 (林野長官賞)

